

令和8年度

新規採択希望

県営経営体育成基盤整備事業 県営土地改良事業計画書

(区 画 整 理)

県 名 岐 阜 県

地 区 名 袈 裟 丸

事業主体 岐 阜 県

第1章	目的・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第2章	地域及び地積・・・・・・・・	1
第1節	地域・・・・・・・・	1
第2節	地積・・・・・・・・	1
第3章	現況・・・・・・・・	2
第1節	気象及び海象・・・・・・・・	2
1.	一般気象・・・・・・・・	2
2.	特殊気象・・・・・・・・	3
第2節	土地状況・・・・・・・・	4
1.	地形、土壌・・・・・・・・	4
2.	土地分類・・・・・・・・	5
3.	土地利用の状況・・・・・・・・	5
4.	土地所有の状況・・・・・・・・	6
第3節	水利状況・・・・・・・・	7
1.	用水状況・・・・・・・・	7
2.	排水状況・・・・・・・・	9
3.	河川状況・・・・・・・・	10
第4節	道路現況・・・・・・・・	11
1.	道路概況・・・・・・・・	11
2.	主要道路一覧表・・・・・・・・	11
第5節	地域農業の概況・・・・・・・・	12
1.	産業別就業人口・・・・・・・・	12
2.	経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数・・・・・	13
3.	動力農機具台数及び主要家畜頭数・・・・・・・・	14
4.	主要作物作付状況・・・・・・・・	15
5.	農業の動向・・・・・・・・	16
第6節	地域環境の概況・・・・・・・・	17

第4章	一般計画・・・・・・・・	18
第1節	事業計画の要旨・・・・・・・・	18
1.	要旨・・・・・・・・	18
2.	事業別面積・・・・・・・・	18
第2節	営農計画及び土地利用計画・・・・・・・・	19
1.	営農計画の概要・・・・・・・・	19
2.	土地利用区分・・・・・・・・	19
3.	作付方式・・・・・・・・	20
4.	生産計画・・・・・・・・	21
5.	労働改善計画・・・・・・・・	22
第3節	用水計画・・・・・・・・	23
1.	計画基準年・・・・・・・・	23
2.	計画かんがい方式・・・・・・・・	23
3.	計画用水系統・・・・・・・・	24
4.	計画用水量・・・・・・・・	25
5.	水源計画・・・・・・・・	26
第4節	排水計画・・・・・・・・	29
1.	計画基準雨量・・・・・・・・	29
2.	計画排水方式・・・・・・・・	29
3.	計画排水系統・・・・・・・・	30
4.	計画排水量・・・・・・・・	31
5.	排水対策・・・・・・・・	32
第5節	道路計画・・・・・・・・	34
1.	道路及び索道・・・・・・・・	34
2.	路線配置図・・・・・・・・	36
第6節	農用地造成計画・・・・・・・・	36
第7節	洪水調節計画・・・・・・・・	36

第8節	干拓計画	36
第9節	農用地整備計画	37
1.	区画整理	37
第5章	主要工事計画	39
第1節	用水施設	39
1.	貯水池	39
2.	頭首工	39
3.	揚水機	40
4.	用水路	41
第2節	排水施設	42
1.	排水水門	42
2.	排水機	42
3.	排水路	43
第3節	道路及び索道	44
1.	道路	44
第4節	農用地造成	45
第5節	洪水調節施設	45
第6節	干拓施設	45
第7節	農用地整備施設	46
1.	区画整理	46
第6章	附帯工事計画	47
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	47
1.	工期	47
第8章	環境との調和への配慮	47
第9章	換地計画の概要	48
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	48
第2節	換地区の設定	48

1.	換地区の名称、所在、面積	48
第3節	換地計画樹立の基本方針	49
1.	従前の土地の地積の基準	49
2.	用途別予定地積	50
3.	農用地集団化の方針	51
4.	非農用地換地の方法	52
第4節	土地の評価及び清算の方法	52
1.	評価の方法	52
2.	清算の方法	52
第5節	換地計画樹立の年度計画	52
第6節	換地処分の特則に関する特則	52
第10章	事業費の総額及び内訳	53
第11章	効用	54
第12章	関連する事業	54
第13章	現況・計画平面図	55
1.	現況平面図	55
2.	計画平面図及び土地利用計画図	55
3.	主要構造図	55

第1章 目的

本市は、岐阜県の最北端に位置し、北は富山市、南東は高山市、西は白川村に隣接し、面積は792.31km²でその約92%を森林が占めている。袈裟丸地区は飛騨市の南部に位置する農業地域で、J R 高山本線と周辺の山々に囲まれた地域である。

本地区では、農地中間管理機構と連携し、担い手への農地集積・集約化を進め、担い手を中心とした新たな連携関係を構築し、生産効率の向上と高収益作物の導入を計画している。しかし、本地区は昭和28～29年の団体営ほ場整備及び昭和55～平成9年の県営土地改良総合整備にて整備されているものの、5a標準区画と農地は狭隘で、耕作道路は一部で2.0～3.0mと狭小であり、用排水路は耐用年数を超過し老朽化が顕著となっており、これらのほ場条件から効率的な営農作業や担い手への農地集積の妨げとなっている。

本事業の実施にあたり、ほ場の区画拡大、用排水路の更新、農道の拡幅、水田の汎用化などの生産基盤を整備することにより、担い手への農地集積の促進、大型営農機械を利用した営農体系を確立し、効率的な営農展開、農業生産性の向上、農業経営の安定化を図ることを目的としている。

第2章 地域及び地積

第1節 地域 (第1表)

事業名	地域
区画整理	飛騨市古川町袈裟丸地内

第2節 地積 令和8年2月 (第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名							
区画整理	飛騨市	12.8	0.1	-	-	3.3	16.2	この事業計画書に記載の面積は原則として都市計画図から図上計測した面積です。例外として以下の箇所は登記簿面積（登記簿面積が無いものは公図から算出した面積）を記載しています（表中に（登記簿）と記載）。 ・第4表－4 ・第25表－3（従前の土地について、図上計測面積と登記簿面積を併記） ・第25表－5（一部図上計測面積含む）
	計	12.8	0.1	-	-	3.3	16.2	
							-	
	計	-	-	-	-	-	-	
合計		12.8	0.1	-	-	3.3	16.2	

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	河合観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	1978年 ～ 2020年	5月 ～ 9月	10月 ～ 4月		
平均気温(℃)		19.8	4.0	10.6	平年値は1991-2020年の 30年間の観測値の平均
降水量	平均 (mm)	942.0	1,107.8	2,049.8	
	基準年 (mm)				
降水日数	平均 (日)	62.3	112.7	175.0	
	基準年 (日)				
根雪期間		月 日 ～ 月 日 日間			
無霜期間		月 日 ～ 月 日 日間			
最多風向		東北東	最大風速 (風向)	11.0 m/s (東北東)	最多風向発生時期 1月～3月 6月～10月 最大風速発生年月日 H10.4.26

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
河合観測所																
観測期間																
1976年～2024年																
最大日雨量 (mm)	238	H11.9.15	1/48	218	H14.7.10	1/24	214	H16.10.20	1/16	169	H10.8.12	1/12	165	H30.7.5	1/10	
最大時間雨量 (mm)	51	S58.8.9	1/48	42	H14.7.10	1/24	41	H11.9.15	1/16	40	H17.6.19	1/12	37	H16.8.31	1/10	
最大4時間雨量 (mm)																
最大連続雨量 (mm)																
最大連続干天日数 (日)																

* 観測期間は、河合観測所の公表期間

第2節 土地状況

1. 地形、土壤及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑、その他						受益地標高 (m)		備考
	傾斜 区分	1/1,000 未満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
区画整理	面積(ha)	-	4.4	8.4	-	-	12.8	0.1	-	-	-	-	0.1	483.9	473.9	
	比率(%)	-	34	66	-	-	100	100	-	-	-	-	100			
	面積(ha)															
	比率(%)															

[土壤]

(第4表-1-2)

項目 土壤統（区）名	土壤統（区）区分一覧表							面積（ha）			備考
	土壤断面							事業名			
	色	腐植	礫層	土性			泥炭層 黒泥層 グライ層	区画整理		計	
				表土 一層	下層土 二層 三層						
西山統	灰色	あり	－	C L	C L	L i C	あり	12.9		12.9	
										－	
										－	
										－	
										－	
										－	
計								12.9		12.9	

2. 土地分類 ・ ・ ・ 該当なし

3. 土地利用の状況

令和8年2月 (第4表-3)

事業名	土地利用 区分 市町村名	耕地							採草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶畑 (ha)	その他の 果樹園 (ha)	小計 (ha)						
区画整理	飛騨市	12.8	0.1	-	-	-	-	12.9	-	-	-	3.3	16.2	
	計	12.8	0.1	-	-	-	-	12.9	-	-	-	3.3	16.2	
合計		12.8	0.1	-	-	-	-	12.9	-	-	-	3.3	16.2	

4. 土地所有の状況

令和8年2月 (第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有				共有				法人有				市町村有	県有	計	備考
区画整理	面積(登記簿)(ha)	15.2	12.8	0.6	0.4	0.3	-	-	-	0.0	-	-	-	4.4	-	33.7	
	受益者数 (人)	[35] 35	[29] 23	[3] 3	[6] 1	[1] 1	[-] -	[-] -	[-] -	[1] 1	[-] -	[-] -	[-] -	[2] 2	[-] -	[77] 66	[]は重複含む 共有は代表者のみ計上
	筆数 (筆)	[113] 111	[85] 85	[6] 6	[7] 3	[1] 1	[-] -	[-] -	[-] -	[1] 1	[-] -	[-] -	[-] -	[94] 94	[-] -	[307] 301	[]は重複を含む 市町村有は有地番のみ計上
	権利関係	所有権	賃貸借権	使用 貸借権	所有権 (農用地 以外)	所有権	賃貸借権	使用 貸借権	所有権 (農用地 以外)	所有権	賃貸借権	使用 貸借権	所有権 (農用地 以外)	土地改良 法第5条 第6項用地	土地改良 法第5条 第6項用地		
	受益者数 (人)	35	23	3	1	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	66	
合計	面積(登記簿)(ha)	15.2	12.8	0.6	0.4	0.3	-	-	-	0.0	-	-	-	4.4	-	33.7	
	受益者数 (人)	[35] 35	[29] 23	[3] 3	[6] 1	[1] 1	[-] -	[-] -	[-] -	[1] 1	[-] -	[-] -	[-] -	[2] 2	[-] -	[77] 66	[]は重複含む 共有は代表者のみ計上
	筆数 (筆)	[113] 111	[85] 85	[6] 6	[7] 3	[1] 1	[-] -	[-] -	[-] -	[1] 1	[-] -	[-] -	[-] -	[94] 94	[-] -	[307] 301	[]は重複を含む 市町村有は有地番のみ計上
	権利関係	所有権	賃貸借権	使用 貸借権	所有権 (農用地 以外)	所有権	賃貸借権	使用 貸借権	所有権 (農用地 以外)	所有権	賃貸借権	使用 貸借権	所有権 (農用地 以外)	土地改良 法第5条 第6項用地	土地改良 法第5条 第6項用地		
	備考 (受益者数)	35	23	3	1	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	66	

第3節 水利状況

1. 用水状況

本地区の水源は一級河川宮川から取水する大久古用水及び渓流水である。大久古用水は、一級河川宮川から取水し、岐阜県飛騨市古川町沼町、杉崎、袈裟丸の60haの農地に用水を供給する用水路である。大久古用水は昭和26～33年に県営事業により設置され、昭和47～平成19年に改築されている。また、平成30年度には県営かんがい排水事業（保全計画策定型）他1事業大久古用水地区が採択され、今後の保全計画も策定されている。袈裟丸地区南東地域は、ポンプにより取水した大久古用水と渓流水を貯留し、パイプラインにて配水している。北西地域は、開水路にて東西方向を大久古用水が流下し、南北方向に配置された末端水路を通じて各農地へ配水されている。

地区内の水路は耐用年数を超過し、老朽化が顕著となっており、水路の破損やクラック、豆板状となっている区間も見受けられる。

(1) 用水系統（別紙現況用水系統図参照）

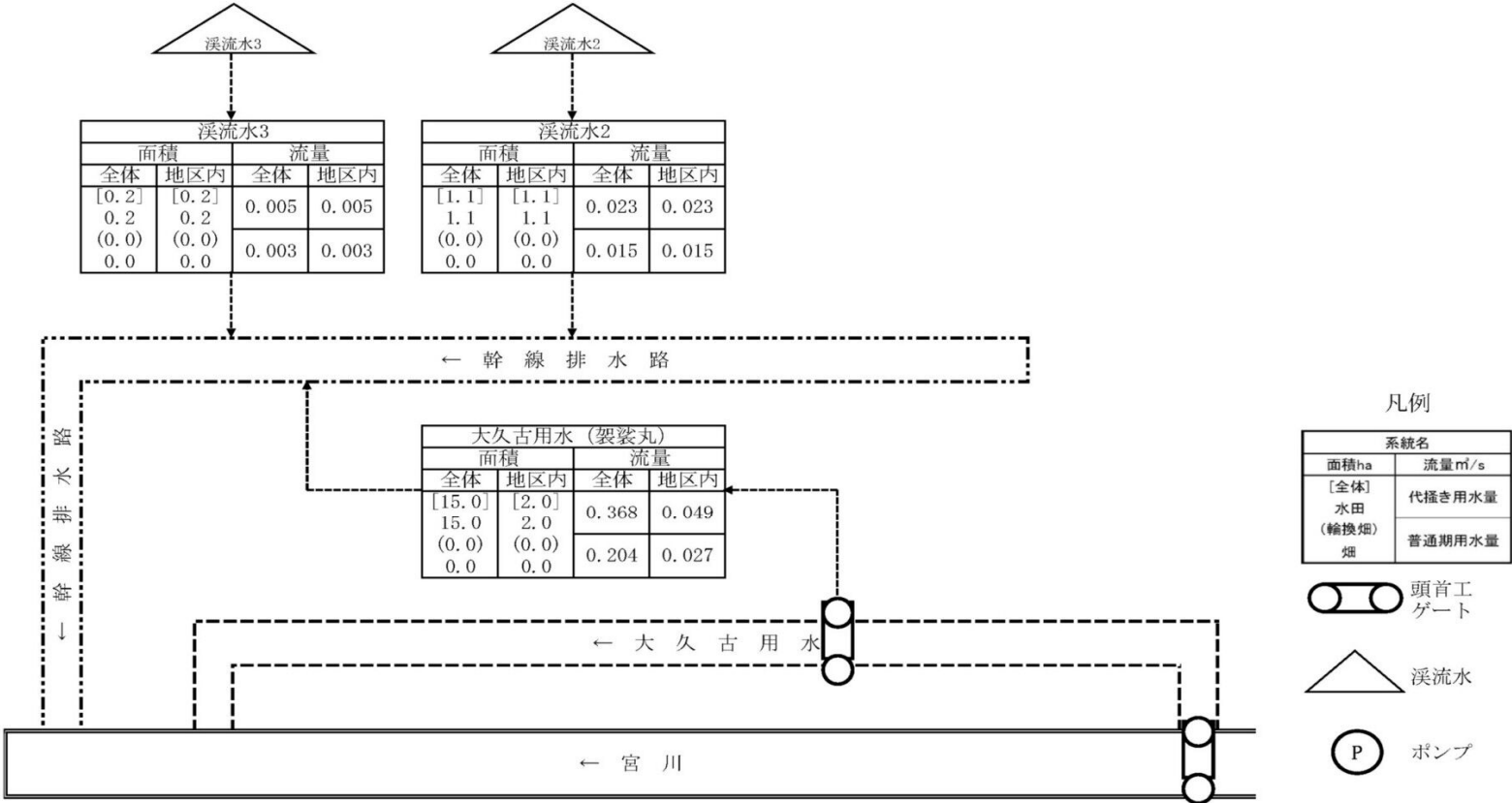
(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

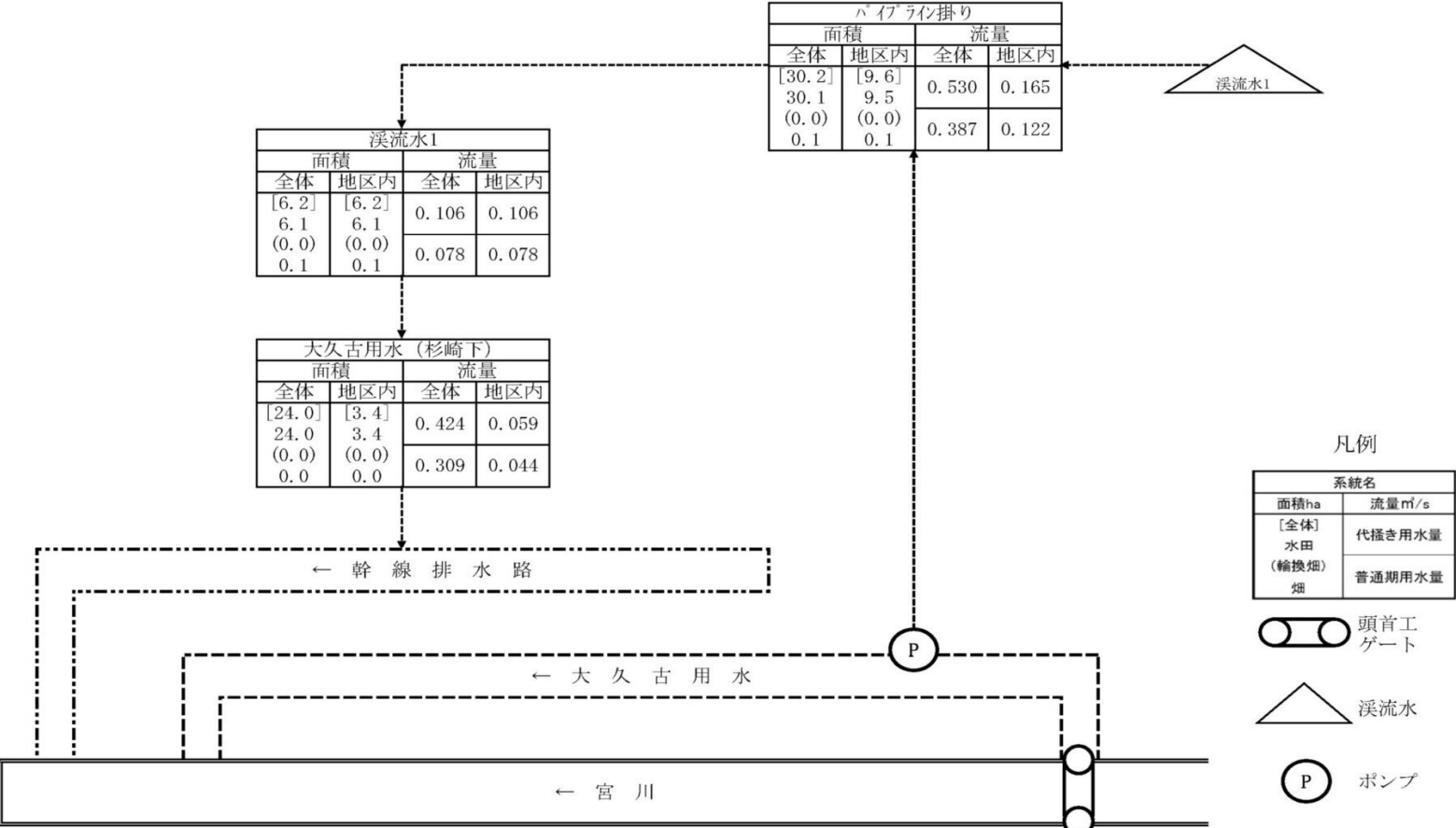
(第5表－1)

事業名	項目	かんがい面積						計		許可水利権		慣行水利権等		延べ取水量		備考
		500ha以上		500ha～100ha		100ha未満										
	施設名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s	箇所	m³/s	
区画整理	貯水池							-	-					-	-	
	井堰					1	60.0	1	60.0			1	1.250	1	1.250	地区外受益 54.6ha含む
	自然取水口					3	7.5	3	7.5					-	-	
	揚水機							-	-					-	-	
	その他							-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	4	67.5	4	67.5	-	-	1	1.250	1	1.250	
合計		-	-	-	-	4	67.5	4	67.5	-	-	1	1.250	1	1.250	

現 況 用 水 系 統 図



現況用水系統図



(イ)改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年度 又は 更新年度	改修を必要 とする理由	備考
	施設名							
区 画 整 理	貯水池							
	井堰							
	自然取水口							
	揚水機							
	用水路		12.9	塩ビ管 コンクリート二次製品	L=2.6km L=4.7km(排水込)	S55年	老朽化	一部用排兼用水路
	その他							
	計	-	12.9					
合計		-	12.9					

2. 排水状況

本地区の排水流域は地区内外の農地と主に近隣の住宅や周辺の山々である。本地区には一本の幹線排水路が配置されており、J R 高山本線沿いを流下し、県道下の横断暗渠を通過後、地区の中心から山際を順に流れ、国道41号下の横断暗渠を通過して一級河川宮川へ排水される。幹線排水路へは地形勾配方向に配置された支線・末端排水路を経由、又は直接排水される。

(1) 排水系統 (別紙現況排水系統図参照)

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表－4)

事業名	項目		排水面積						計		排水慣行	現況排水能力	備考
			500ha以上		500～100ha		100ha未満						
	施設名		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
区画整理	自然	排水路					1	115.7	1	115.7	6.663	6.663	
		水門							-	-			
	機械	排水機							-	-			
		水門及び排水機							-	-			
		排水路及び排水機							-	-			
	計		-	-	-	-	1	115.7	1	115.7	6.663	6.663	
	合計		-	-	-	-	1	115.7	1	115.7	6.663	6.663	

現況排水系統図

袈裟丸

(別紙)

現 況 排 水 系 統 図



凡例

路線名
流域面積 (ha)
1/ 2年排水量 (m ³ /s)
1/10年排水量 (m ³ /s)

(イ)改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年度 又は 更新年度	改修を必要 とする理由	備考
	施設名								
区 画 整 理	自然	排水路		12.9	コンクリート二次製品	L=4.7km(用水込)	S55年	老朽化	一部用排兼用水路
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び 排水機							
		排水路及び 排水機							
	計		-	12.9					
合計			-	12.9					

3. 河川状況

本地区の用排水施設の主要工事に係る河川は、一級河川宮川である。

第4節 道路現況

1. 道路概況

本地区の道路配置は比較的良好で、地区内耕作道路や市道を経て、地区の中心を通過する県道鼠餅古川線（以降県道とする）へ接道される。県道は本地区の主要道路となっており、県道を中心に南東と北西の地域に分けられる。また、JAひだライスセンターや農産物直売所「そやな」も近傍にあり、県道から地区の南側を通る国道41号を経由することで円滑に接続することが出来る。

2. 主要道路一覧表

(第6表)

NO	路線名	管理区分	延長 (km)	幅員 (m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			
1	県道473号鼠餅古川線	岐阜県		5.5	5.5	アスファルト舗装	否	
2	国道41号	岐阜県		5.5	8.5	アスファルト舗装	否	



第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

出典： 令和2年国勢調査

(第7-1表)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 採石業 砂利採取業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 熱供給水道事業 (人)	運送 通信業 (人)	卸売業 小売業 (人)	金融業 保険業 (人)	不動産業 物品賃貸業 (人)	サービス業 (人)	公 務 (人)	その他 (人)	備考
飛騨市	11,814	874	89	28	23	1,115	2,811	79	439	1,400	168	85	4,276	416	11	
計	11,814	874	89	28	23	1,115	2,811	79	439	1,400	168	85	4,276	416	11	
比率(%)	100	7	1	-	-	9	24	1	4	12	1	1	36	4	-	

2. 経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数

出典：2020年農林業センサス

(第7-2表)

項目 市町村名	総 農 家 数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						主副業別農家数 (戸)			備考
		0.3 ha	0.3 ～	0.5 ～	1 ～	1.5 ～	2 ～	3 ～	5 ～	10 ～	20 ha	自給的 農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	主業	準主業	副業	
		未満	0.5	1	1.5	2	3	5	10	20	以上											
飛騨市	1,406	16	201	179	61	29	22	13	12	4	6	863	1.0	0.4	1.2	2.6	-	2.6	66	65	367	
計	1,406	16	201	179	61	29	22	13	12	4	6	863	1.0	0.4	1.2	2.6	-	2.6	66	65	367	
比率(%)	100	1	14	11	4	2	2	1	1	-	-	64	39	15	46	100	0.0	100	5	5	26	

3. 動力農機具台数及び主要家畜頭数

出典：2015年農林業センサス

(第7－3表)

項目 市町村名	動力農機具						備考	主要家畜						備考
	動力田植機		トラクター		コンバイン			乳用牛		肉用牛		採卵鶏		
	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)		数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (100羽)	経営体数 (経営体)	
飛騨市	394	370	612	552	221	235		X	3	X	26	X	1	
計	394	370	612	552	221	235		-	3	-	26	X	1	
100経営体当たり 数量(台、頭)	58		89		32			-		-		-		
所有経営体数 割合 (%)	54		81		34			-		4		-		

※飛騨市農業経営体数

684 (経営体)・・・2015年農林業センサス

※2020年農林業センサスに農機具データが無い場合、2015年を採用する。

4. 主要作物作付状況

出典：2020年農林業センサス

(第7－4表)

市町村名	飛騨市				計	作付割合 (%)	備考
経営耕地面積 (ha)	699				699		
区分 作物名	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)		
稲	344				344	49	
麦 類	X				X	－	
雑 穀	35				35	5	
い も 類	X				X	－	
豆 類	28				28	4	
工芸農作物	X				X	－	
野 菜 類	68				68	10	
花き類・花木	1				1	－	
その他の作物	44				44	6	
計	520	－	－	－	520	74	

「X」は秘密保護上統計数値を公表しないもの。

「－」は調査は行ったが、事実のないもの。

「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

5. 農業の動向

(第7-5表)

項目 区分	農家						土地			主要作物			動力農機具			主要家畜			その他	地域 指定等	備考
		B	A	経営耕地 規模	B	A		B	A	作物名	B	A	農機具名	B	A	農機具名	B	A			
変化の 状況 (C年 100 とする 指数)	総農家数	87	75	0.3ha未満	81	76	耕地	93	86	稲	94	93	動力田植機	75	-	乳牛		X	91	農業振興地域 H17.7 野菜指定産地 夏秋トマト S48.12 夏だいこん S42.6 ほうれんそう S48.6	A:2020年 (農林業センサス) B:2015年 (農林業センサス) C:2010年 (農林業センサス)
	主業農家数	90	79	0.3ha ～ 0.5ha	73	59	田	94	78	麦類	X	X	トラクター	78	-	肉牛		X	X		
	準主業農家数	48	34	0.5ha ～ 1.0ha	81	55	畑	83	74	豆類	137	147	コンバイン	75	-	豚		X	X		
	副業的農家数	87	65	1.0ha ～ 3.0ha	77	77	樹園地	124	71	野菜類	X	88				採卵鶏	76		-		
	農業就業人口	80	120	3.0ha 以上	103	95				花き類・ 花木	X	33				ブロイラー	-		-		
変化の理由	各種数値が減少傾向となる原因は、高齢化の進行及び後継者不足。			組織経営の増加により、主業農家の経営規模は全体的に縮小傾向にある。			組織経営の増加により主業農家の経営面積は全体的に縮小傾向にある。また、開発により、全体的に縮小傾向にある。			各種数値の減少傾向となる原因は、高齢化の進行及び後継者不足。豆類は「水田収益力強化ビジョン」にもある通り、主食用米から麦大豆への転換が進んでおり、需要者の要望に応える量の確保や品質確保を図り、安定供給を進めている。			営農機械の大規模化により農業用機械台数は減少している。			非公表により、比較不能。					

第 6 節 地域環境の概況

本市は岐阜県の最北端に位置し、北は富山市、南東は高山市、西は白川村に隣接しており、面積は792.31km²でその約92%を森林が占めている。周囲は北に3,000mを超える北アルプス連峰とその一峰、北ノ俣岳を頂き、はるか東南に雄大な御岳、東方に優美な乗鞍岳を望み、北アルプスの支脈である標高1,000m内外の山々に囲まれている。また、市内を宮川や荒城川、高原川などが深いV字谷を刻みながら流れており、浸食により幾階層にも分かれた河川段丘状の土地に集落が形成されており、唯一の平坦部が古川盆地である。

道路交通網としては、国道41号、国道360号、国道471号があり、これらを繋ぐように県道が配置され、市道やその他道路により各集落を結びながら市内全域を網羅している。また、JR高山本線が名古屋市から市内を南北に通過し富山市へ通じている。

本市では自然、農山村、市街地の各所において特徴的な景観を有しており、街並み景観、農村景観、自然景観などに優れた地区を保全地区として定め、積極的に保全に努めている。また、本市の豊かな自然環境は数多くの貴重な動物の生命を育んでおり、岐阜県レッドデータブックによると35科51種もの絶滅危惧種が存在しており、その中には天然記念物のオオサンショウウオなど、絶滅の危機に瀕している貴重種が多数確認されている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

本地区では、農地中間管理機構と連携し、担い手への農地集積・集約化を進め、担い手を中心とした新たな連携関係を構築し、生産効率の向上と高収益作物の導入を計画している。しかし、本地区は昭和28～29年の団体営ほ場整備及び昭和55～平成9年の県営土地改良総合整備にて整備されているものの、5a標準区画と農地は狭隘で、耕作道路は一部で2.0～3.0mと狭小であり、用排水路は耐用年数を超過し老朽化が顕著となっており、これらのほ場条件から効率的な営農作業や担い手への農地集積の妨げとなっている。

本事業の実施にあたり、ほ場の区画拡大による作業効率向上、農道拡幅による安全な交通確保、用排水路更新による水管理省力化により、担い手への農地集積や農業経営の安定化を図ることを目的としている。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名	区画整理												計 (ha)	備考
土地利用区分 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
農地集約化	11.7	0.6	-	-	3.9	16.2						-	16.2	
						-						-	-	
計	11.7	0.6	-	-	3.9	16.2	-	-	-	-	-	-	16.2	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

高齢化による人手不足や地域内の担い手不足、若い人の農業離れにより、農地を守っていけなくなる恐れがある。また、地域の中心となる次世代の耕作者が
おらず、他地域の2つの認定組織、2人の認定農業者により一部農地が集積されているものの、集約的な農地集積でないため、営農効率が上がっていないこと
が課題となっている。農業基盤は、農地が狭小であり、道路も一部で狭隘となっており、整備水準が低く、今後、担い手が借受けることに対しての足枷となっ
ている。現状、水稻単作地帯であるが、ハウスが点在しており、一部で個人営農者がほうれんそうやアスパラガスの作付を行っている。

区画拡大、道路拡幅、用排水路更新により地域の中心的担い手への農地集積・集約を推進し、主食用米を中心として、高収益作物であり、飛騨市の地域特産
物である「トマト」に取り組む計画である。

2. 土地利用区分

(第9-1表)

事業名	土地利用 区分	耕地							採草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	小計						
区画整理	現況	12.8	0.1	-	-	-	-	12.9	-	-	-	3.3	16.2	
	計画	11.7	0.6	-	-	-	-	12.3	-	-	-	3.9	16.2	
計	現況	12.8	0.1	-	-	-	-	12.9	-	-	-	3.3	16.2	
	計画	11.7	0.6	-	-	-	-	12.3	-	-	-	3.9	16.2	

3. 作付方式

(第9-2表)

事業名	項目	営農 類型	土地 利用 区分	1 年目												2 年目												3 年目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
区画 整理	現況	水稻	水田					△	—	—	—	×								△	—	—	—	×							△	—	—	—	×			○播種 △定種 ×収穫 △消毒		
		えごま	水田						○	△	—	×									○	△	—	×								○	△	—	×					
		ほうれんそう	水田			○	○ ×	—	—	—	—	×					○	○ ×	—	—	—	—	×						○	○ ×	—	—	—	—	×					
		その他野菜	普通畑																																					
		その他野菜	普通畑																																					
	計画	水稻	水田					△	—	—	—	×								△	—	—	—	×							△	—	—	—	×					
		トマト	水田					△	△	—	—	×								△	△	—	—	×							△	△	—	—	×					

4. 生産計画

(第9-3表)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考	
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積 当たり収量 増 減		
区画整理	水田	表作	主食用米	9.2	10.1	0.9	82.5	100	515	525	10	47	53	6	5	1	作付面積増加	
			ほうれんそう	0.5	-	△0.5	4.8	-	830	938	108	4	-	△4	△4	-	作付面積減少	
			えごま	0.1	-	△0.1	0.8	-	40	46	6	-	-	-	-	-	作付面積減少	
			アスパラガス(その他野菜)	0.3	-	△0.3	2.4	-	551	623	72	2	-	△2	△2	-	作付面積減少	
			きゅうり(その他野菜)	0.3	-	△0.3	2.4	-	2,088	2,401	313	6	-	△6	△6	-	作付面積減少	
												-	-	-	-	-		
												-	-	-	-	-		
												-	-	-	-	-		
												-	-	-	-	-		
												-	-	-	-	-		
												-	-	-	-	-		
			管理保全	0.7	-	△0.7	7.1					-	-	-	-	-	-	
		小計	11.1	10.1	△1.0	100	100											
		裏作				-	-	-				-	-	-	-	-	-	
												-	-	-	-	-	-	
	小計		-	-	-	-	-											
	計				11.1	10.1	△1.0	100	100									
	普通畑	春夏作	ねぎ(その他野菜)	0.1	-	△0.1	100	-	1,220	1,379	159	1	-	△1	△1	-	作付面積減少	
			トマト	-	0.6	0.6		100	8,135	9,356	1,221	-	56	56	49	7	作付面積増加	
			小計	0.1	0.6	0.5	100	100										
		秋冬作				-	-	-				-	-	-	-	-		
						-	-	-				-	-	-	-	-		
			小計	-	-	-	-	-										
計				0.1	0.6	0.5	100	100										
合計				11.2	10.7	△0.5												

5. 労働改善計画

(第9表－4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
区 画 整 理	水田	主食用米	10.10	人力	41	13	△28	小区画(湿田)→ 中区画(乾田)
				機械力	11	3	△8	
		ほうれんそう	-	人力			-	
				機械力			-	
		えごま	-	人力			-	
				機械力			-	
		アスパラガス (その他野菜)	-	人力			-	
				機械力			-	
		きゅうり (その他野菜)	-	人力			-	
				機械力			-	
	普通畑	ねぎ(その他野菜)	-	人力			-	小区画(湿田)→ 中区画(乾田)
				機械力			-	
		トマト	0.6	人力	574	572	△2	
				機械力	4	4	-	
	計		10.7					
合計		10.7						

第3節 用水計画

1. 計画基準年

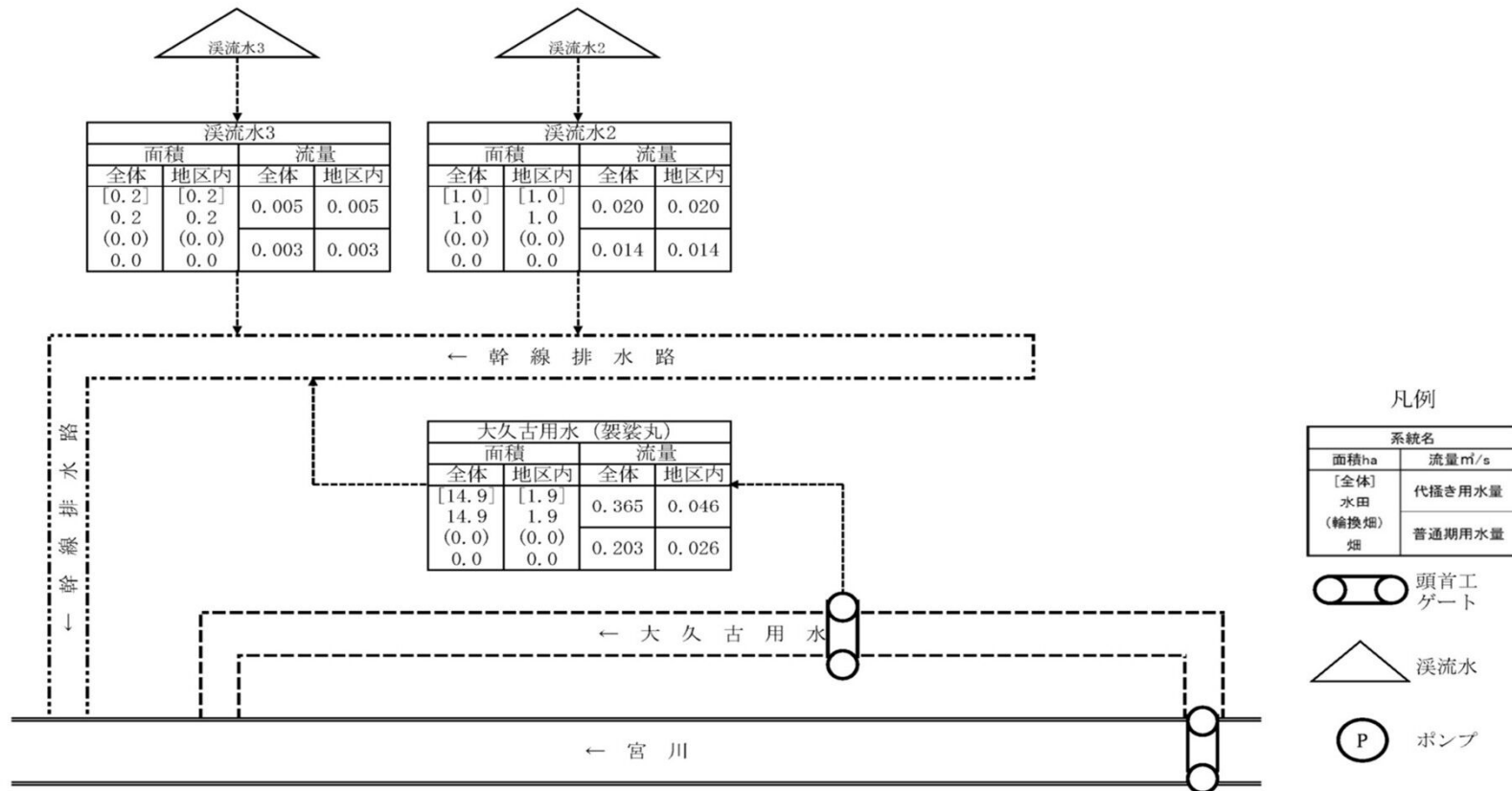
該当なし

2. 計画かんがい方式

水田	水稻	用排分離型かんがい (開水路・菅水路)	かんがい期間	5月上旬～ 9月上旬	代かき期間	5月上旬 4日間
	転作畑	うね間かんがい		通年		
普通畑	畑作物	うね間かんがい		通年		

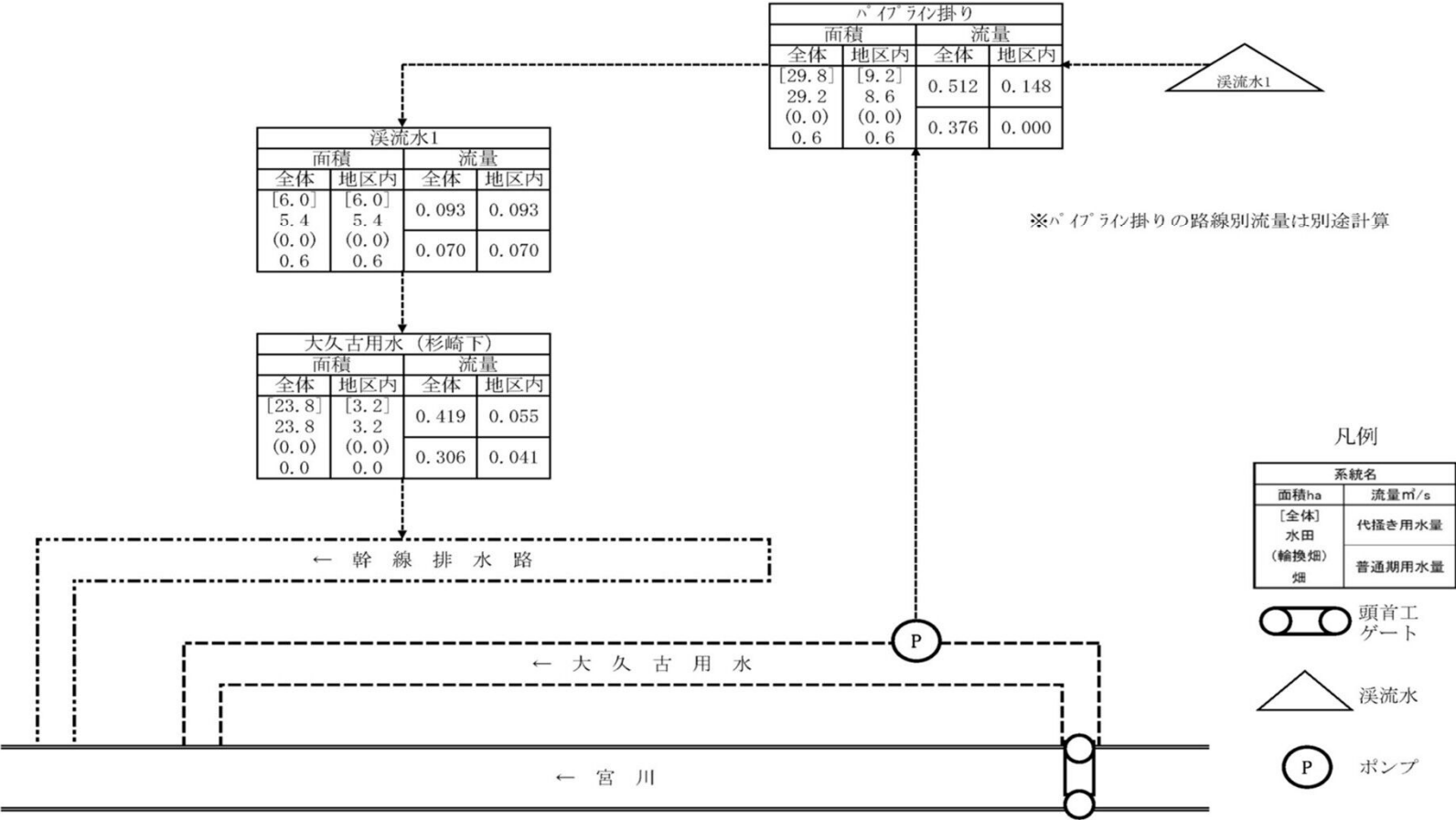
3. 計画用水系統

計 画 用 水 系 統 図



3. 計画用水系統

計 画 用 水 系 統 図



4. 計画用水量
(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積(ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水量 (m³/s)	損失 率 (%)	利用水量		備考
		事業名			普 通 期 計 画 平 均 単 位 用 水 量 (mm/日)	代かき期 計 画 平 均 単 位 用 水 量 (mm)	面積 (ha)	一 日 当 た り 計 画 平 均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	一 日 当 た り 計 画 平 均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	計 画 平 均 単 位 用 水 量 (mm/日)	面積 (ha)			平均 (m³/s)	最大 (m³/s)	
		区 画 整 理		計																
大久古用水（杉崎下）	農業 用水	3.2		3.2	100	200	3.2	5	-	-	5	-	-	-	-	0.05	10	0.04	0.06	地区外受益 20.6ha
溪流水1	農業 用水	6.0		6.0	100	200	5.4	5	-	-	5	-	0.6	-	-			0.07	0.09	
パイプライン掛け	農業 用水	-		-	100	200	-	5	-	-	5	-	-	-	-			-	-	
大久古用水（製炭丸）	農業 用水	1.9		1.9	100	200	1.9	5	-	-	5	-	-	-	-			0.03	0.05	地区外受益 13.0ha
溪流水2	農業 用水	1.0		1.0	100	200	1.0	5	-	-	5	-	-	-	-			0.01	0.02	
溪流水3	農業 用水	0.2		0.2	100	200	0.2	5	-	-	5	-	-	-	-			0.00	0.01	
計		12.3		12.3			11.7			-			0.6		-					

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源	備考
		a	b	c=a-b	d=c/(1-α)	水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可 能 量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量	工種	損失率 : α (%)
		(千m ³)	(千m ³)	(千m ³)	(千m ³)		e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		
区 画 整 理	大久古用水 (杉崎下)	437	-	437	486	大久古用水	486	437	-	-	宮川	486	既設	10
	溪流水1	722	-	722	802	溪流水	802	722	-	-	溪流水	802	既設	10
	パイプライン掛り	-	-	-	-	大久古用水 + 溪流水	-	-			宮川+溪流水	-	既設	10
	大久古用水 (袈裟丸)	269	-	269	317	大久古用水	317	269			宮川	317	既設	15
	溪流水2	144	-	144	170	溪流水	170	144			溪流水	170	既設	15
	溪流水3	31	-	31	36	溪流水	36	31			溪流水	36	既設	15
	計	1,603	-	1,603	1,811		1,811	1,603	-	-		1,811		

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

該当なし

(イ) 井堰及び自然取入口

該当なし

(ウ) 揚水機

該当なし

(エ)用水路

(第10表-6)

名称	項目	かんがい面積 (ha)		最大 通水量 (m³/s)	延長 (km)	構造	備考
		事業名					
		区画整理	計				
末端用水路		3.1	3.1	0.07	0.7	コンクリート二次製品	
末端用水路		9.2	9.2	0.15	1.7	管水路塩ビ管 (VU φ 75～300)	
計		12.3	12.3		2.5		

第 4 節 排水計画

1. 計画基準雨量

日雨量	99.8 (mm)	(1/ 2年確率雨量)
	165.6 (mm)	(1/10年確率雨量)

河合観測所	46 年
-------	------

2. 計画排水方式

排水方法	自然排水
許容湛水深	4 時間雨量 4 時間排除

3. 計画排水系統

計 画 排 水 系 統 図



幹線排水路	
A=	115.70
Q 2=	2.908
Q10=	6.664

凡例

路線名
流域面積 (ha)
1/ 2年排水量 (m ³ /s)
1/10年排水量 (m ³ /s)

4. 計画排水量

(第 1 1 表－ 1)

項目 系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	降雨により 直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備考
	事業名						山地	平地	山地	平地	山地	平地	平地		山地	
	区画整理		計	山地	平地								山地	平地		
幹線排水路	12.3		12.3	1.2	－	165.6	5.76	－	－	－	6.66	－	－	5.76	－	
計	12.3		12.3	1.2	－						6.66	－	－	5.76	－	

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なし

(2) 排水機

該当なし

(3)排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画 排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名						名称	計画 洪水量 (m ³ /s)	計画 洪水位 (m)	
		区画整理		計							
末端排水路	1.2	12.3		12.3	6.7	2.3	コンクリート二次製品	宮川	-	-	
計	1.2	12.3		12.3		2.3					

第5節 道路計画

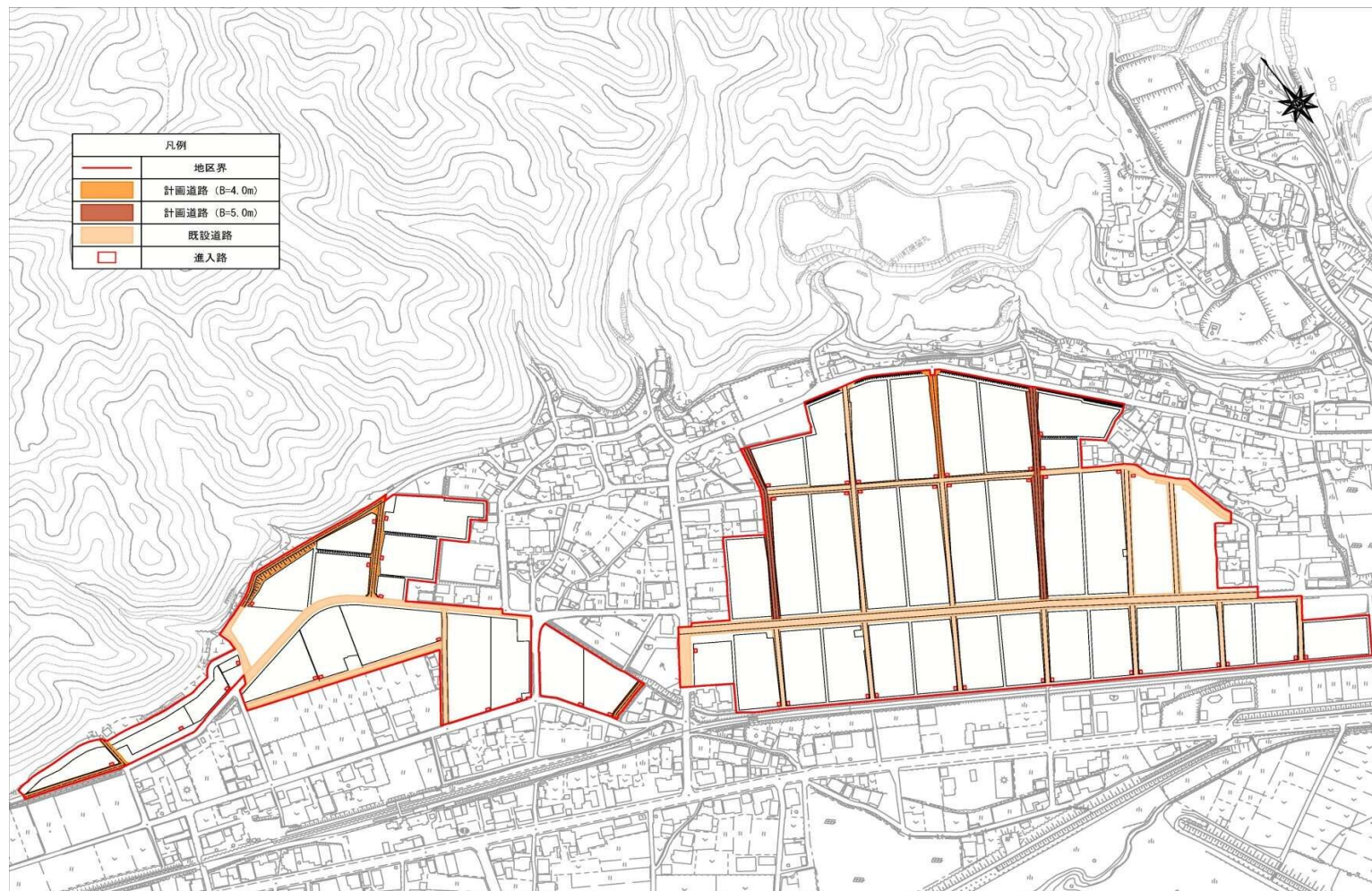
1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名	項目	幅 (m)	(有効) ×	延長 (km)	構造	既設道路との関係	備考
農道 (新設)		4.0	(3.0) ×	0.04	土砂道	既設道路と接続	
農道 (拡幅)		4.0	(3.0)	0.47	土砂道	既設道路と接続	
農道 (拡幅)		5.0	(4.0)	0.36	土砂道	既設道路と接続	
既設道路		4.0m以上		2.7	舗装	既設道路と接続	
計				3.6			

2. 路線配置図



第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調節計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

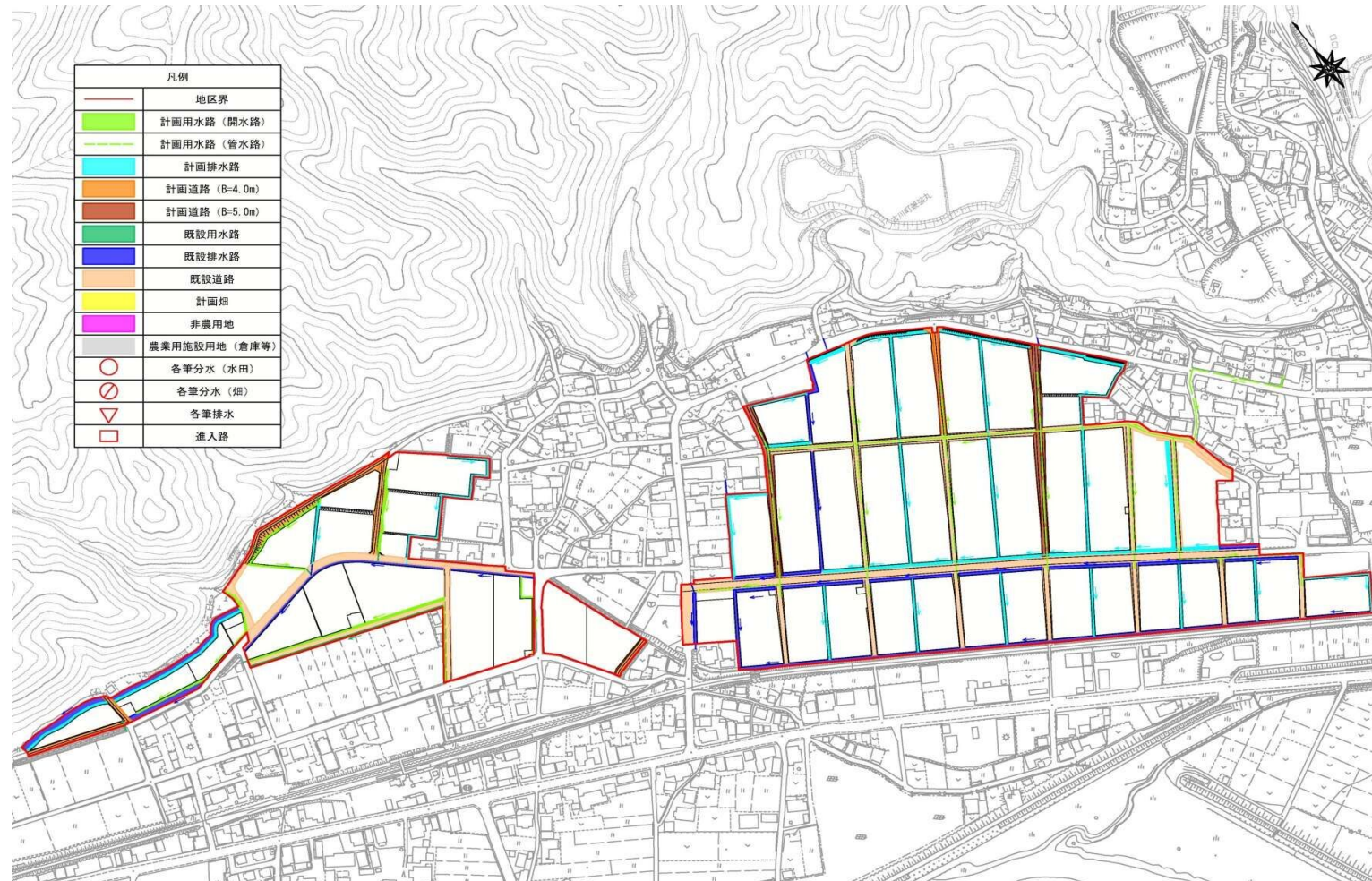
長辺 × 短辺 (m)	1区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
30 × 115	0.3	9.9	80	-	面積区分：0.2ha～0.5ha
30 × 65	0.2	2.4	20	-	面積区分：0.2ha未満
	-	-	-	-	
	-	-	-	-	
計		12.3	100		

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m³)	備考
11.7	耕土保持のため	18	21,060	水田
0.6	耕土保持のため	25	1,500	畑
計			22,560	

(3) 末端道水路配置図



第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池
該当なし
2. 頭首工
該当なし

3. 揚水機

該当なし

4. 用水路

(第17表-4)

水路名	項目	かんがい面積 (ha)		通水量 (m³/s)	延長 (km)			構造	勾配	主要 構造物	備考	
		事業名			開渠	トンネル その他	計					
		区画整理	計									
末端用水路		3.1		3.1	0.07	0.7	0.1	0.8	コンクリート二次製品	1/20～ 1/200	台付管	
末端用水路		9.2		9.2	0.15		1.7	1.7	管水路塩ビ管 (VUφ75～300)	1/100～ 1/1000	仕切弁, 空気弁, 水管橋	

第 2 節 排水施設

1. 排水水門

該当なし

2. 排水機

該当なし

3. 排水路

(第18表-3)

水路名	項目	受益面積 (ha)		排水量 (m³/s)	延長 (km)			構造	勾配	主要 構造物	備考	
		事業名			開渠	トンネル その他	計					
		区画整理	計									
末端排水路		12.3		12.3	6.66	2.3	0.1	2.4	コンクリート二次製品	1/20～ 1/1000	台付管	

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効)(m) ×延長(km)		構造	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)
					名称	構造	数量(箇所)			
農道(新設)	D	4.0	(3.0) × 0.04	土砂道	-	-	-	-	-	-
農道(拡幅)	D	4.0	(3.0) × 0.47	土砂道	-	-	-	-	-	-
農道(拡幅)	D	5.0	(4.0) × 0.36	土砂道	-	-	-	-	-	-
既設道路	既D	4.0m以上	× 2.7	舗装	-	-	-	-	-	-
計			3.6							

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調節施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 (m3)	面積 (ha)	土量 (m3)	
袈裟丸	12.3	30m×115m	-	12.3	22,560	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

区分 \ 項目	数量 (km)	規模	構造	備考
末端用水路	0.7	受益面積 3.1ha	コンクリート二次製品	
末端用水路	1.7	受益面積 9.2ha	管水路塩ビ管 (VUφ75～300)	
計	2.5			

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

区分 \ 項目	数量 (km)	規模	構造	備考
末端排水路	2.4	受益面積 12.3ha	コンクリート二次製品	
計	2.4			

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期

着手予定

令和

8 年度

完了予定

令和

15 年度

第8章 環境との調和への配慮

施工期間中に仮回し水路が施工区域外へ放流する地点に土のう等で沈砂池を設置し、工事実施時に水路等に濁水が混入しないようにする。

工事前に、水路内に生物の生息が見受けられる場合、必要に応じ近隣の河川、水路等に避難させる。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

ほ場整備の実施により大型機械の導入が可能な区画形状・道水路を整備し、近代化農業の推進と労力の節減を図るとともに各農家の農地の集団化等を促進し、又、農地所有適格法人による高生産性農業を推進し農地の流動化を図るために、換地計画を樹立するものである。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
袈裟丸	飛騨市古川町袈裟丸地内	16.2
計		16.2

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
袈裟丸	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は、土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合には、その申し出のあった地積とする。

2. 用途別予定地積

単位：h a (第25表-3)

換地区名	用途 (予定取得者) 前後	非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地											機能交換に係る土地				一般 国 公有地	総 合 計	
		田	畑	山林 原野	その他	通常事業施行地域 に含める土地 (令第1条の9(イ)書き)			計	本事業によって生ずる 土地改良施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地						合 計	国	県	市町 村他			合 計
						土地 改良 施設	その他	小計		改良区	その他	小計			宅地	その他	小計		農業 経営 合理 化 施設 用地	必要 な 施設 上 地 生活 上 経営 用	公 用 ・ 公 共 用 地	施 設 用 地	宅 地 等	小計							
袈 裟 丸	従前の 土地	12.8	0.1	-	-	-	-	-	12.9	-	-	-	-	12.9	0.2	0.0	0.2	-	-	-	-	-	-	0.2	-	-	3.1	3.1	-	16.2	
	従前の土地 (登記簿)	12.8	0.1	-	-	-	-	-	12.9	-	-	-	-	12.9	0.2	0.0	0.2	-	-	-	-	-	-	0.2	-	-	3.1	3.1	-	16.2	
	換地	11.7	0.6	-	-	-	-	-	12.3	-	-	-	-	12.3	0.2	0.0	0.2	-	-	-	-	-	-	0.2	-	-	3.7	3.7	-	16.2	
	従前の 土地																														
	従前の土地 (登記簿)																														
	換地																														
合 計	従前の 土地	12.8	0.1	-	-	-	-	-	12.9	-	-	-	-	12.9	0.2	0.0	0.2	-	-	-	-	-	-	0.2	-	-	3.1	3.1	-	16.2	
	従前の土地 (登記簿)	12.8	0.1	-	-	-	-	-	12.9	-	-	-	-	12.9	0.2	0.0	0.2	-	-	-	-	-	-	0.2	-	-	3.1	3.1	-	16.2	
	換地	11.7	0.6	-	-	-	-	-	12.3	-	-	-	-	12.3	0.2	0.0	0.2	-	-	-	-	-	-	0.2	-	-	3.7	3.7	-	16.2	

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当目標団地数	区画畦畔の取扱い
袈裟丸	地目別、作物別集団化	換地は、各人の従前の土地が最も密集した位置を中心に定める。	田、畑おおむね 1ないし2団地	固定畦畔

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

区分 換地区名	用途	非農用地区域の 位置の概略	面積(登記簿) (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他
袈裟丸	宅地	おおむね従前どおり	1,788	特定用途用地換地	従前所有者	
	農振白地	おおむね従前どおり	163	特定用途用地換地	従前所有者	

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

標準地比準方式

2. 清算の方法

増価額比例地積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考
袈裟丸	令和10年度～令和13年度	令和14年度	令和15年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項但し書の規定により、換地計画に係る地域の全部について工事が完了する以前においても換地処分をすることが出来る。

第 1 0 章 事業費の総額及び内訳

(第 2 6 表)

事業名		区画整理 (千円)			計 (百万円)	備考
区分						
	主要工事	497,000			497,000	令和7年度単価
	附帯工事	-			-	
	計	497,000			497,000	
関連 事業 (参考)	暗渠排水	50,000			50,000	令和7年度単価
					-	
					-	
					-	

第 1 1 章 効用

(第 2 7 表)

事業名	項目	年総効果(便益)額 (千円)	現況農家所得額 (千円)	年総増加農業所得額 (千円)	備考
区画 整理	区分				
	食料の安定供給の確保に関する効果	36,276		34,490	作物生産効果、営農経費節減効果 維持管理費節減効果、営農に係る走行経費節減効果
	農業の持続的発展に関する効果	-		-	
	農村の振興に関する効果	930		-	地積確定効果
	多面的機能の発揮に関する効果	-		-	
	その他の効果	2,728		-	国産農産物安定供給効果
	計	39,934		34,490	令和7年度単価
	総便益額	706,693			
	総費用	639,577			
	総費用総便益比	1.10			
	総所得償還率	-			
	増加所得償還率	-			

第 1 2 章 関連する事業

(第 2 8 表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容
同種	農地耕作条件改善事業	岐阜県	9.2	暗渠排水 A=9.2ha
異種				
異種				
異種				

第 13 章 現況・計画図面

1. 現況平面図
別紙による
2. 計画平面図
別紙による
3. 土地利用計画図
別紙による
4. 主要構造図
別紙による